※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０３

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学 A	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高等学校　数学Ⅰ」　（数研出版）						
副教材等	「4 プロセス　数学Ⅰ＋A」　（数研出版） 「Focus Gold 6th Edition 数学Ⅰ+ A」　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では，課題に対して，自ら考え，周りの人と協働で考える活動を行います。
・授業用ノートと問題集用のノートを用意してください。
・問題集は,問題集の答えを見ずに自分なりの答えを出しましょう。解答には途中式や図,考え方も書き,解き終わったら各自で答え合わせをし,間違った問題はなぜ間違えたのか原因をつきとめ,間違い直しをしましょう。
・家庭学習における課題は，定期的に提出してもらいます。学校で習った内容はその日のうちに理解しようとし，疑問点は早めに先生に質問し，テスト前に焦らないためにも計画的に問題集に取り組みましょう。
・授業中のノートについては,板書を書き写すだけでは,評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 場合の数と確率，整数の性質または図形の性質について理解し，基礎的な知識と技能を習得する。
(2) 事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識する。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・図形の性質,場合の数と確率についての基本的な概念や原理・原則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数学化したり,数学的に解釈したり,数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係などに着目し,図形の性質を見いだし,論理的に考察する力,不確実な事象に着目し,確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力,数学と人間の活動との関わりに着目し,事象に数学の構造を見いだし,数理的に考察する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり,粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり,評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	１章　場合の数と確率	第1節　場合の数 １ 集合の要素の個数 ２ 場合の数 ３ 順列 ４ 組合せ	a:具体的な事象を基に順列及び組み合わせの意味を理解し,順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 b:事象の構造などに着目し,場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 c:事象を場合の数の考えを用いて考察するよさを認識し,問題解決にそれらを活用しようとしている。	確認テスト レポート 定期考査	提出ノート レポート 定期考査	観察 提出ノート 振り返りシート
		第2節　確率 ５ 事象と確率 ６ 確率の基本性質	a:確率の意味や基本的な法則についての理解を深め,それらを用いて事象の確率を求めることができる。 b:確率の性質や法則に着目し,確率を求める方法を多面的に考察することができる。 c: 事象を確率の考えを用いて考察するよさを認識し,問題解決にそれらを活用しようとしている。	確認テスト レポート 定期考査	提出ノート レポート 定期考査	観察 提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期		7 独立な試行と確率 8 条件付き確率 9 期待値	a:独立な試行や条件付き確率や期待値の意味を理解し,簡単な場合について確率をそれぞれ求めることができる。 b:確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり,期待値を意思決定に活用したりすることができる。 c: 事象を確率の考えを用いて考察するよさを認識し,問題解決にそれらを活用しようとしている。	確認テスト レポート 定期考査	提出ノート レポート 定期考査	観察 提出ノート 振り返りシート
	2章 図形の性質	第１節 平面図形 1 三角形の辺の比 2 三角形の外心･内心･重心 3 チェバの定理･メネラウスの定理	a:平面図形に関する基本的な性質について理解している。 b:コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして,図形の性質や作図について統合的･発展的に考察することができる。 c:事象を平面図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し,問題解決にそれらを活用しようとする。	確認テスト レポート 定期考査	提出ノート レポート 定期考査	観察 提出ノート 振り返りシート
		4 円に内接する四角形 5 円と直線 6 2つの円 7作図	a: 円の性質について理解し、理由についても理解しようとすることができる。 b: 円の性質を使って値を求めることができる。 c: 円の性質の考えを用いて考察するよさを認識し,問題解決にそれらを活用しようとする。	確認テスト レポート 定期考査	提出ノート レポート 定期考査	観察 提出ノート 振り返りシート
		第2節 空間図形 8 直線と平面 9 空間図形と多面体	a:空間図形に関する基本的な性質について理解している。 b:図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し,図形の新たな性質を見いだし,その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 c:事象を空間図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し,問題解決にそれらを活用しようとする。	確認テスト レポート 定期考査	提出ノート レポート 定期考査	観察 提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	3章 数学と人間の活動	第1節 整数の性質 1 約数と倍数 2 素数と素因数分解 3 最大公約数･最小公倍数 4 整数の割り算 5 ユークリッドの互除法 6 1次不定方程式 7 n進法	a:数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。 b: 目的に応じて数学を活用して考察することができる。 c:人間の活動における数学のよさを認識し,問題解決にそれらを活用しようとする。	確認テスト レポート 定期考査	提出ノート レポート 定期考査	観察 提出ノート 振り返りシート
		第2節 数学と人間の活動 1 整数の性質と人間の活動 2 座標の考え方 3 ゲーム･パズルの中の数学	a: 身の回りにおける数学的事象に対して興味をもち､学ぼうとする。 b: パズルなどに数学的な要素を見いだし,目的に応じて数学を活用して考察することができる。 c: グループワークにおいて、積極的に発言し､意欲的に参加している。	授業プリント	授業プリント	グループワーク

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度